

ユーロ・ソブリン・オープン

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2022年5月7日～2022年11月7日

第 143 期 決算日：2022年7月5日

第 144 期 決算日：2022年9月5日

第 145 期 決算日：2022年11月7日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、欧州連合（EU）加盟諸国の信用度の高い（A格以上）公社債を実質的な主要投資対象とし、ソブリン債券を中心とした公社債からの長期的に安定した利子収入の確保とともに、信託財産の成長を目指して運用を行うことを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第145期末（2022年11月7日）

基準価額 5,311円

純資産総額 999百万円

第143期～第145期

騰落率 -3.3%

分配金合計(*) 45円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  0120-151034

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

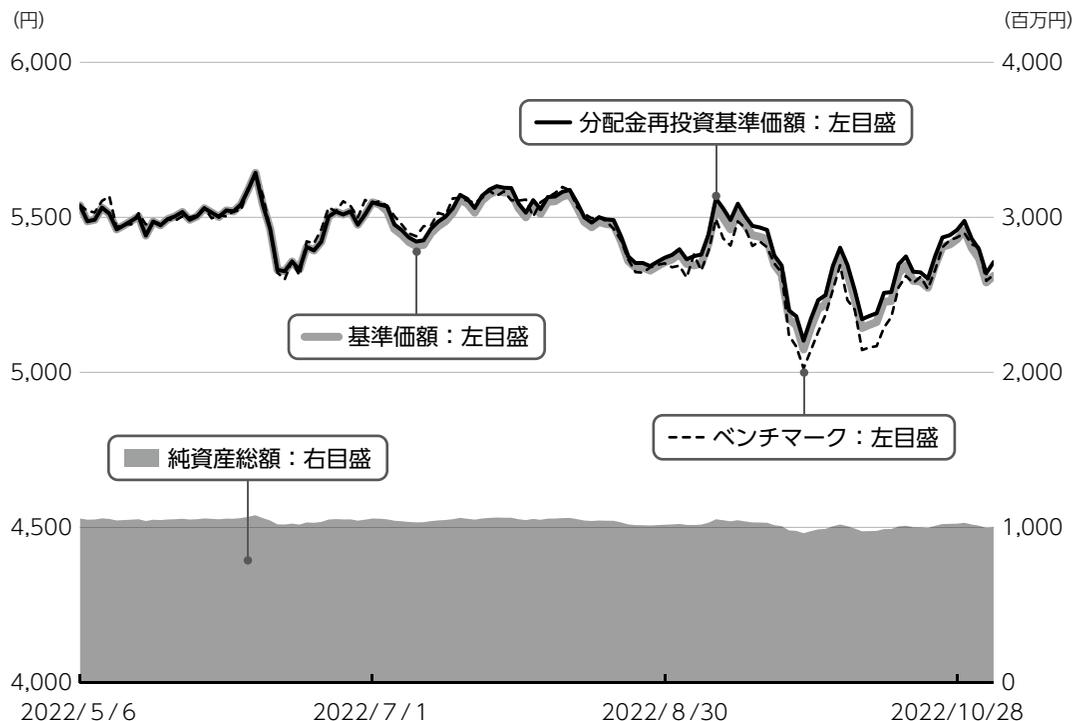
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第143期～第145期：2022年5月7日～2022年11月7日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第143期首 5,538円

第145期末 5,311円

既払分配金 45円

騰落率 -3.3%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ3.3%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-4.0%）を0.7%上回りました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

ユーロが対円で上昇したことや、債券利子収益を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

欧州長期金利が上昇したことや信託報酬等のコストが、基準価額の下落要因になりました。

※ベンチマークは、F T S E 欧州世界国債インデックス（円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2022年5月7日～2022年11月7日

1 万口当たりの費用明細

| 項目 | 第143期～第145期 | | 項目の概要 |
|-------------|-------------|---------|---|
| | 金額 (円) | 比率 (%) | |
| (a) 信託報酬 | 32 | 0.585 | (a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数) |
| (投 信 会 社) | (20) | (0.362) | ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (11) | (0.195) | 交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (2) | (0.028) | ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価 |
| (b) その他費用 | 1 | 0.020 | (b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (1) | (0.017) | 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.002) | ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.001) | 信託事務の処理等に要するその他諸費用 |
| 合 計 | 33 | 0.605 | |

作成期中の平均基準価額は、5,427円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

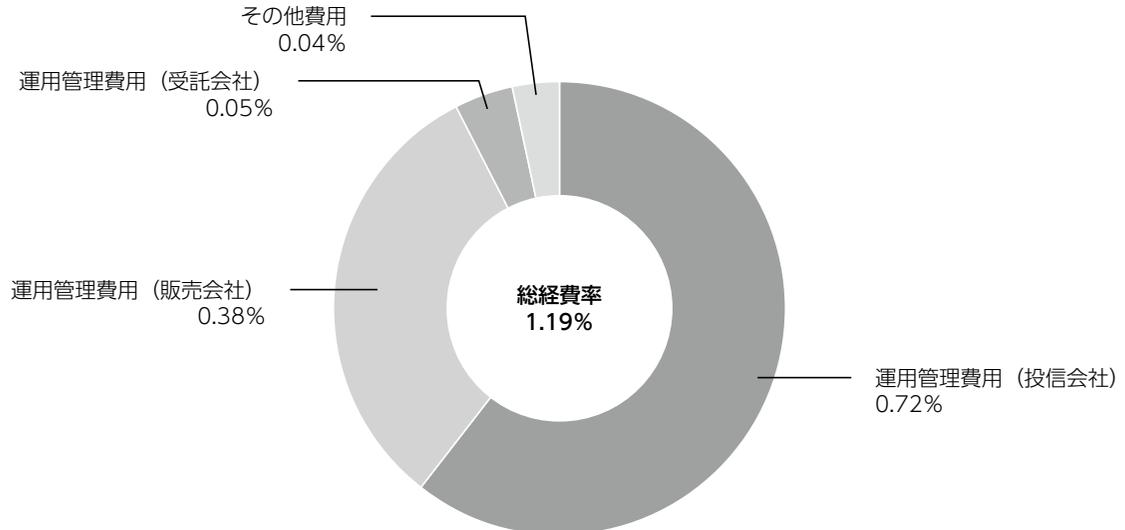
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.19%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

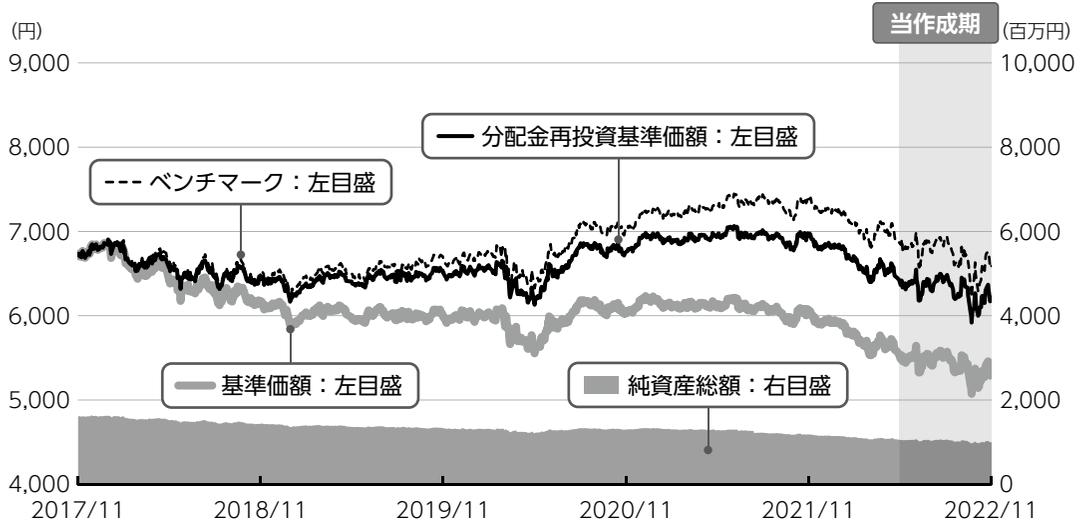
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2017年11月6日～2022年11月7日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2017年11月6日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

| | 2017/11/6 期初 | 2018/11/5 決算日 | 2019/11/5 決算日 | 2020/11/5 決算日 | 2021/11/5 決算日 | 2022/11/7 決算日 |
|-------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額 (円) | 6,734 | 6,135 | 6,013 | 6,026 | 6,034 | 5,311 |
| 期間分配金合計 (税込み) (円) | — | 300 | 220 | 180 | 165 | 90 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | -4.5 | 1.7 | 3.3 | 2.9 | -10.5 |
| ベンチマーク騰落率 (%) | — | -3.8 | 3.5 | 4.6 | 4.8 | -10.3 |
| 純資産総額 (百万円) | 1,611 | 1,427 | 1,333 | 1,294 | 1,178 | 999 |

※ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金 (税込み) を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、F T S E 欧州世界国債インデックス (円ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

投資環境について

▶ 欧州債券市況

欧州長期金利は上昇しました。

欧州長期金利は、複数の欧州中央銀行（ECB）高官が2022年9月末までのマイナス金利政策脱却を支持する発言を行い、金融政策正常化の前倒し観測が高まったことなどを背景に6月中旬にかけて上昇しました。その後、ロシアからの天然ガス供給に対する懸念などを背景に、景気後退懸念が高まったことなどから、欧州長期金利は7月末にかけて低下しました。その後の欧州長期金利は、ECBが9月理事会において今後複数回の理事会で利上げを継続する方針を示し、金融政策正常化の前倒し観測が高まったことなどを背景に上昇基調で推移し、作成期を通じてみると欧州長期金利は上昇しました。

▶ 為替市況

ユーロは対円で上昇しました。

ユーロは、ECBによる金融政策正常化の前倒し観測の高まりなどを背景に、2022年6月中旬にかけて対円で上昇基調で推移しました。その後、ロシアからの天然ガス供給に対する懸念などを背景に、景気後退懸念が高まったことなどから、ユーロは8月上旬にかけて対円で下落しました。その後は、日銀が緩和的な金融政策を維持する中、前記金融政策正常化の前倒し観測の高まりなどを背景にユーロは対円で上昇基調で推移し、作成期を通じてみるとユーロは対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ユーロ・ソブリン・オープン

ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ちました。

▶ ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

E U加盟国の国債・政府保証債、事業債等、信用度の高い公社債（A格以上）を主要投資対象とし、これらの債券を高位に組み入れて運用を行いました。

国別資産配分

当作成期を通じて、相対的に高い金利水準にあるスペインなどをベンチマーク比オーバーウェイトで維持した一方、イタリアなどを非保有としました。

デュレーション（金利感応度）

ファンド全体のデュレーションは、概ねベンチマーク比短めとしました。

※デュレーション

「金利変動に対する債券価格の変動性」を示すもので、債券はデュレーションが大きいほど、金利変動に対する価格の変動が大きくなる傾向があります。

為替取引

作成期首は1.2%程度のノルウェークローネ買い、1.3%程度のユーロ売り、作成期末は0.5%程度のノルウェークローネ買い、1.3%程度のポーランドズロチ買い、3.9%程度のスウェーデンクローナ買い、5.6%程度のユーロ売りとしました。

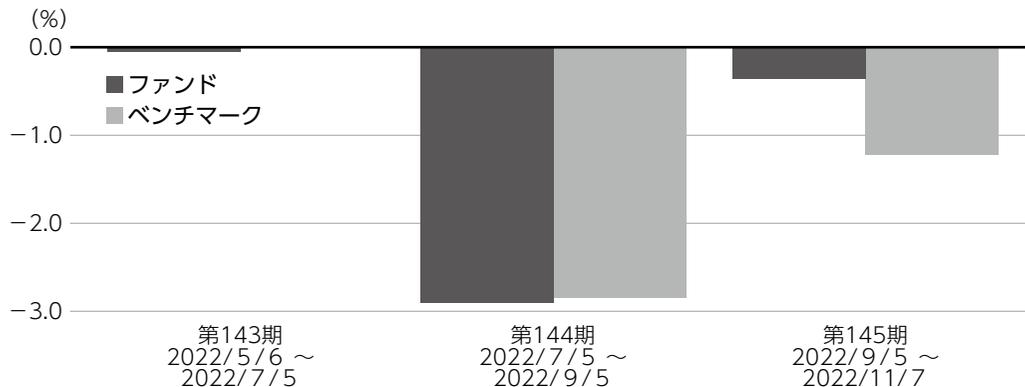
信用格付

信用度の高いA格以上の公社債を主要投資対象としています。

第143期～第145期：2022/5/7～2022/11/7

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

基準価額（当ファンド）とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

▶ ユーロ・ソブリン・オープン

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-4.0%）を0.7%上回りました。

マザーファンド保有以外の要因

信託報酬などの運用管理費用がマイナスに影響しました。

マザーファンド保有による要因

作成期を通じてデュレーションを概ねベンチマーク比短めとしていたことや、財政規律への懸念の高まりから英国長期金利が相対的に大きく上昇したなか、作成期を通じて英国を非保有としたことなどがプラスに寄与しました。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準・市況動向等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項目 | 第143期 2022年5月7日～ 2022年7月5日 | 第144期 2022年7月6日～ 2022年9月5日 | 第145期 2022年9月6日～ 2022年11月7日 |
|----------------|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 当期分配金（対基準価額比率） | 15 (0.271%) | 15 (0.280%) | 15 (0.282%) |
| 当期の収益 | — | — | — |
| 当期の収益以外 | 15 | 15 | 15 |
| 翌期繰越分配対象額 | 344 | 329 | 314 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ ユーロ・ソブリン・オープン

引き続き、ユーロ・ソブリン・オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象として運用を行います。マザーファンドの組入比率を高位に保つ方針です。

▶ ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

国別資産配分

現行の方針を基本に、各国の景気動向や財政状況、政治動向、政策対応などを重視した国・銘柄選別に注力します。

ソブリン債以外では、事業債に関しては取り巻く環境等を勘案し、ウエイトを調整する方針です。

デュレーション

長期金利への影響が大きい景気その他の諸条件を考慮し、デュレーションなどのコントロールを行います。

為替取引

引き続き、今後の為替動向を見極め、機動的にポジションを構築していく方針です。

信用格付

引き続き、投資環境を見極め、信用格付けの高い銘柄を中心に組み入れていく方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

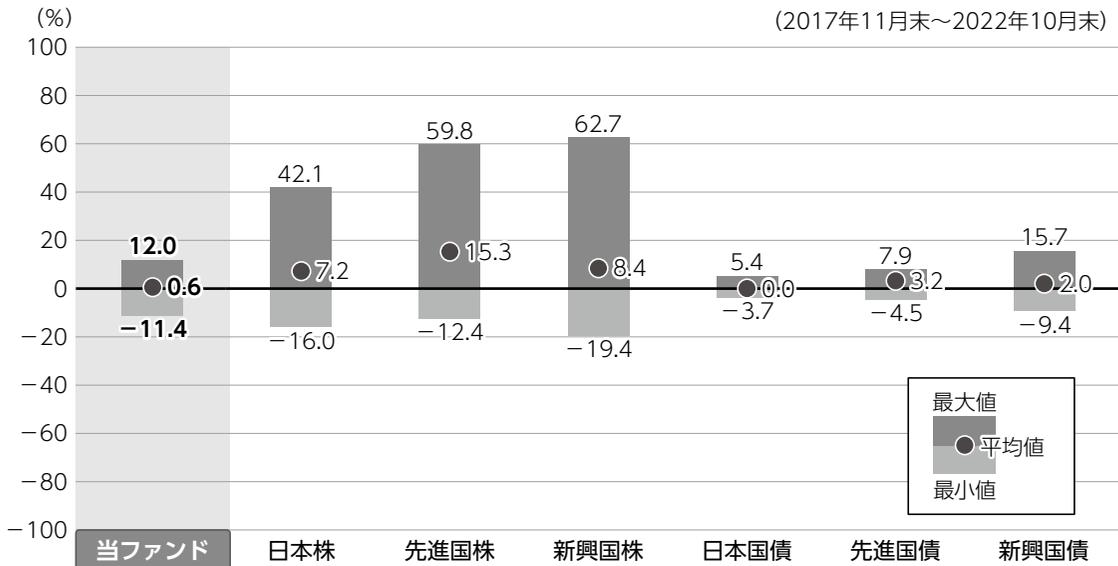
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufig.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

| | |
|--------|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 |
| 信託期間 | 無期限（1998年7月31日設定） |
| 運用方針 | ファミリーファンド方式により、高水準かつ安定的なインカム・ゲインの確保とともに信託財産の成長をはかることを目的として運用を行います。 |
| 主要投資対象 | <p>■当ファンド ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド受益証券</p> <p>■ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド EU加盟国の信用度の高い（A格以上）公社債</p> |
| 運用方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・EU加盟諸国の信用度の高い公社債に投資を行います。 ・ソブリン債券を中心とした公社債からの長期的に安定した利子収入の確保とともに、信託財産の成長を目指します。 |
| 分配方針 | 毎年1、3、5、7、9、11月の5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。） |

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2017年11月から2022年10月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

| | |
|------|---------------------------------|
| 日本株 | 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) |
| 先進国株 | MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) |
| 新興国株 | MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) |
| 日本国債 | NOMURA-BPI (国債) |
| 先進国債 | FTSE世界国債インデックス (除く日本) |
| 新興国債 | JPMorgan Global Diversifaid |

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2022年11月7日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

| ファンド名 | 第145期末 2022年11月7日 |
|-----------------------|----------------------|
| ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド | 99.4% |

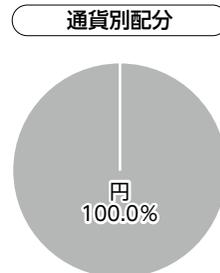
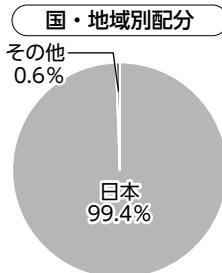
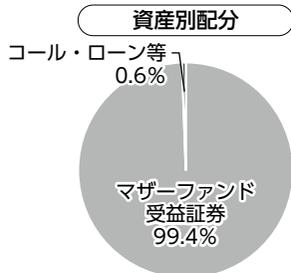
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

| 項目 | 第143期末 2022年7月5日 | 第144期末 2022年9月5日 | 第145期末 2022年11月7日 |
|----------------|---------------------|---------------------|----------------------|
| 純資産総額 (円) | 1,051,514,549 | 1,014,537,985 | 999,967,982 |
| 受益権口数 (口) | 1,904,764,935 | 1,898,020,574 | 1,882,787,328 |
| 1万口当たり基準価額 (円) | 5,520 | 5,345 | 5,311 |

※当作成期間中（第143期～第145期）において追加設定元本は12,632,936円
同解約元本は 38,111,672円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先として他のファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

154009

2022年11月7日現在

組入上位ファンドの概要

ユーロ・ソブリン・オープン マザーファンド

基準価額の推移

2022年5月6日～2022年11月7日



1万口当たりの費用明細

2022年5月7日～2022年11月7日

| 項目 | 第225期～第230期 | |
|----------|-------------|---------|
| | 金額(円) | 比率(%) |
| (a)その他費用 | 4 | 0.018 |
| (保管費用) | (4) | (0.017) |
| (その他) | (0) | (0.001) |
| 合計 | 4 | 0.018 |

作成期中の平均基準価額は、22,748円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：31銘柄)

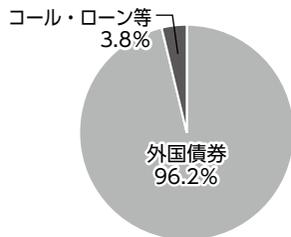
| | 銘柄 | 種類 | 国・地域 | 業種/種別 | 比率(%) |
|----|-------------------------|----|--------|-------|-------|
| 1 | 0 O.A.T 270225 | 債券 | フランス | 国債 | 7.9 |
| 2 | 1.3 SPAIN GOVT 261031 | 債券 | スペイン | 国債 | 7.6 |
| 3 | 0 OBL 261009 | 債券 | ドイツ | 国債 | 7.2 |
| 4 | 1.45 SPAIN GOVT 290430 | 債券 | スペイン | 国債 | 7.0 |
| 5 | 0.2 SCHATS 240614 | 債券 | ドイツ | 国債 | 6.4 |
| 6 | 0 NETH GOVT 310715 | 債券 | オランダ | 国債 | 6.0 |
| 7 | 1.25 O.A.T 340525 | 債券 | フランス | 国債 | 5.5 |
| 8 | 0.9 AUSTRIA GOVT 320220 | 債券 | オーストリア | 国債 | 4.9 |
| 9 | 0.8 BEL GOVT 280622 | 債券 | ベルギー | 国債 | 4.0 |
| 10 | 0 BUND 520815 | 債券 | ドイツ | 国債 | 3.7 |

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

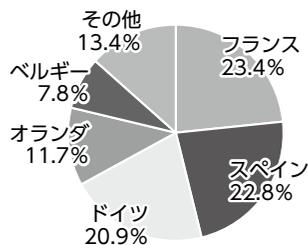
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

種別構成等

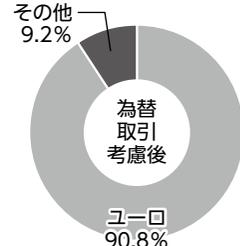
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先としてのファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドのベンチマークである『FTSE 欧州世界国債インデックス (円ベース)』について

FTSE 欧州世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、欧州主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額比率で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る商標又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る商標又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

● MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE 世界国債インデックス (除く日本)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。